くみあいNEWS

第１５３６３号
2024年10月16日(水)
発行責任者
日本製鉄和歌山労働組合
組織教宣部
WAKAYAMA WORKERS' UNION

組合ＨＰ　組合 LINE

代表内線番号　和歌山地区(本部)（54)－3590
堺地区　652990／海南地区(54)－5555

日本製鉄和歌山労働組合「第12回定期大会」を開催する


玉井議長


佐々木議長

去る10月3日（木）に組合会館において、和歌山労組は「第12回定期大会」を代議員86名が出席するなか開催しました。玉井、佐々木両議長のスムーズな進行により大会は進められ、第1号議案「第54期後半年度活動方針に関する件（案)」の提案に対しては、冷間製管支部、製銑整備支部、設備総務支部ならびに青年女性部より補強意見が出されました。第1号議案「第54期後半年度活動方針に関する件（案)」、第2号議案「2025年度会計予算に関する件（案)」ともに満場一致により可決・決定されました。



本大会にお越しいただきましたご来賓の方々をご紹介します。


連合和歌山
(和歌山労組特別執行委員)
会長　山本　龍一氏


和歌山市議会議員
(組織内議員)
清末　博善氏


こくみん共済coop和歌山推進本部
(和歌山労組顧問)
本部長　池田　祐輔氏

- 堺市議会議員　木畑　匡 氏
- 岩出市議会議員　吉本　勧曜 氏
- 泉南市議会議員　河部　優 氏
- 県労懇　副会長　清水　輝彦 氏
- 近畿労働金庫 支店長　安井　史幸 氏

第12回定期大会
組合長挨拶



中濱組合長

大会代議員の皆様、ご安全に！

和歌山労組「第１２回定期大会」へのご対応、大変お疲れ様です。

まずもって、組合員の皆様におかれましては、日頃より和歌山労組の諸活動に対し多大なるご理解・ご協力を頂き、心より感謝を申し上げます。

おかげさまで、昨年９月からの第５４期前半年の一年間、安全衛生活動や生活総点検活動の推進など各支部を中心に、諸活動の盛り上げ・活性化が図られたことに、重ねて御礼申し上げます。

そして、本日は、公私とも大変お忙しい中、多くのご来賓の皆様にご臨席を賜っております。後ほど議長から丁重にご紹介を頂き、ご祝辞も頂戴しますので、わたくしからのご紹介は割愛させて頂きますが、本大会に華を添えて頂きましたことに、和歌山労組を代表して衷心よりお礼を申し上げます。本当にありがとうございます。

大会のご挨拶をさせていただく前に、皆様にお伝えしなくてはならないことがございます。本定期大会にご来賓としてお越しいただき、ご挨拶を賜る予定をしておりました、日本製鉄労連の副会長であります桐野太一氏が、去る９月３０日にご逝去されました。２週間前にはお元気な姿を拝見したところでもあり、未だに信じられない気持ちでいっぱいです。桐野氏におかれましては、日本製鉄労連の書記長・副会長としてご活躍され、広畑労組の組合長時代より、和歌山労組に対しましても格段のご指導・ご鞭撻を賜った恩人でもあり、非常に残念でなりません。謹んでご冥福をお祈りいたしますと共に、心より感謝と哀悼の意を表する次第であります。

さて、和歌山労組は、昨年の９月より第５４期として前期の課題を踏まえつつ、足元そして将来を見据えて策定した２年間の運動方針に基づき、執行部・支部が一体となって、様々な活動を展開して参りました。後半年度においても、我々の目ざすべき方向に変わりはございませんが、改めて組合員の皆様と認識を共有すべく３点について申し上げたいと思います。

まず、１点目は職場の「安全と健康の確保」への取り組みを、さらに強化しなければならないということであります。

日本製鉄では今年に入り、休業災害が多発し死亡災害も２件発生するなど、危機的な状況にある中で、和歌山地区においても昨年より災害の連鎖が止まらず、休業災害が１件、不休災害は２３件発生しており、８月末時点で近年最も多かった昨年同時期の件数を上回っています。

労働組合としてもこの１年間、各門での安全呼び掛けや、年末年始・夏期の安全強化活動、各支部と合同での現場巡視など、様々な啓発活動を行い、安全意識の向上に努めて参りましたが、依然として災害の芽を摘み取ることができていません。災害の傾向として、基本行動・ルールの不遵守や過去の類似災害が多いことから、組合員一人ひとりが改めて、強い危機感と緊張感を持って日々の作業・安全活動に取り組まなければなりません。後半年の１年間は、引き続き、節目の安全活動を中心に、規律ある行動で「自分の身を守り、仲間の身を守る」事を呼びかけると共に、会社に対し、リスク低減に向けた設備対策の推進など、経営資源の投入も求めて参ります。

２点目は「雇用基盤の確立に向けた経営対策の強化」への対応についてであります。

近年、国内鋼材需要の低迷が続き輸入鋼材量も高位継続をしていることから、国内鉄鋼生産量は、年々減少の一途を辿っており、生産設備を再構築し「つくる力」を強化することは、国内製鉄事業の存続

を懸けた重要な施策であります。

そのような中、関西製鉄所和歌山地区においては、中長期経営計画により２０２４年度末に第４コークス炉、２０２５年度末に海南小径製管工場西ミル、２０２６年度末に薄板ラインの設備休止が控えています。さらに今般、国内電縫鋼管事業再編に伴い２０２５年４月に日鉄鋼管の直営化が予定されています。

労働組合は当該設備で働く組合員の「生活の安心・安定」を確保することはもとより、設備休止までの間、対話活動による個々人の不安解消やモチベーションの維持が図れるよう、執行部・支部との連携のもと丁寧な対応を図って参る所存であります。

現在、我が国の鉄鋼産業・企業を取り巻く環境は、カーボンニュートラルへの対応を含めた競争激化に加え、原料価格の高止まりや海外市況の低迷など未曽有の厳しい状況にあります。加えて、国内製鉄事業の強化に向けた安定操業・安定生産の確立と世界に先駆けたカーボンニュートラルスチールの実現をはじめとした更なる新商品・新技術の開発と普及拡大、競合他社を凌駕する競争力強化など多くの課題があります。

会社が厳しい競争を勝ち抜き、生き残るためにも、経営基盤の強化に対し是々非々で協力し、そのことが組合員の働く場、すなわち雇用の確保に直結するということをご理解頂き、更には、関西製鉄所の和歌山地区で働く仲間のエンゲージメントを向上させ、会社の発展に大きく寄与することを切望致します。

３点目は「産業政策」「政策・制度」等への取り組みについてです。

組合員の雇用と生活の安心・安定のためには、車の両輪として企業内労働条件の改善と産業政策・政策制度諸課題の改善・解決が不可欠であり、引き続き、我々ものづくり産業の代表として、国会や地方議会の場に推薦議員を送り出すことが極めて重要であることを、改めて組合員の皆様に申し上げます。

前回の第２６回参議院議員選挙で、組合員の皆様に総力を挙げてご協力をいただき国会へ送り出した、村田きょうこ参議院議員は、皆さんもご存知の通り、我々鉄鋼産業はもちろん、ものづくり産業全体に関わる政策の実現を確実に進めていただいており、とても１期目の議員とは思えないほどの大活躍をしています。このことを、もっともっと組合員に伝え、きょんきょんのサポーターを増やしていくことが、我々の大きな役割ですので、引き続き各支部での理解活動の推進をお願いいたします。

そして、いよいよ来年の７月には、ＪＡＭ出身・基幹労連比例代表候補者である「郡山りょう」氏の第２７回参議院議員選挙が迫って参りました。

我々は、「村田きょうこ」議員に続き、ものづくり産業の代表、現場の代表として、産業政策課題はもとより、国の財政や年金・介護・医療といった社会保障問題も含め、政策制度諸課題の改善・解決に向け、何としても「郡山りょう」氏を国会に送り出さなければなりません。「村田きょうこ」氏の次なる戦いをも見据え、組織の総力をあげて取り組んで参りますので、組合員の皆様の格段のご協力をお願いする次第であります。

その他にも後半年度には、職場の安全確保、経営基盤の強化、ＡＰ２５での継続的な賃金改善、ワーク・ライフ・バランスの向上等、様々な課題が山積していますが、上部団体である日本製鉄労連と連携を図りながら、諸課題の解決に努めるとともに、連合和歌山を中心とする地域団体での役割発揮、推薦議員との緊密な連携、福祉事業団体への積極的な関わりなど、労働組合の存在意義を示すべく与えられた役割と責任を果たしていく所存であります。

結びに、和歌山労組第５４期後半年度におきましても、組合員の皆様には、それぞれの持ち場・立場において、安全・環境・防災を最優先に日々ご尽力頂くとともに、関西製鉄所和歌山地区の更なる一体感を醸成するべく、組合活動に対する絶大なるご理解とご協力を賜ります様、心からお願い申し上げ、第１２回定期大会開会にあたってのご挨拶に代えさせて頂きます。共に頑張りましょう。

ご安全に！

第1号議案「第54期後半年度活動方針に関する件（案）」に対する補強意見及び執行部答弁（要旨）



冷間製管支部
辻岡　純 代議員



製銑整備支部
中条　孝平 代議員



設備総務支部
村井　清高 代議員



青年女性部
三木　佑真 代議員

安全で健康な職場環境の確立

関西製鉄所和歌山地区における前半年度の安全成績は、休業災害が１件、不休災害 21 件と危機的な状況であると認識しています。冷間製管支部としては、他工場で起こった全ての災害を類似災害として受け止め、再発防止に向けて直協一丸となった安全取り組みを進めており、引き続き安全意識の向上に努めていきます。執行部におかれましても、和歌山・堺・海南の３地区で働くすべての仲間が安心・安全に働くことができるよう、安全職場の構築に向けて、支部との連携を更に強化していただくことをお願いするとともに、職場実態の把握と課題解決に向けたフォローをお願いいたします。

また、健康な職場環境の確立に向けては、メンタル疾患やハラスメント等の早期発見に向けて、実態把握に務めてまいりますので、引き続き支部との連携を密に行っていただくようお願いいたします。

雇用基盤の確立に向けた経営対策の強化

堺大形工場は現在、形鋼の生産量が減少している中、抑えられた修繕費と人員不足の中で、組合員ひとりひとりが使命を全うしようと日々努力しているところです。しかしながら、全体的な業務量が増えていく中で、離職等により要人員のバランスがタイトな状況にあります。

執行部として、誰もが安心して働ける職場づくりと次世代を担う人材育成ができるよう、現場実態の把握と「人材・設備」への投資に向けた的確な対応を、会社に対し要請いただくようお願いします。

魅力ある労働諸条件の確立と総合的な生活の改善

ＡＰ２４春季取り組みにおいては、要求額を上回る回答を得たことや、諸制度の改訂がなされたこともあり、生活水準の底上げが出来たものと感じています。ＡＰ２５においても、他産業・他産別に負けない賃金水準をめざし、より安心・安定した生活が送れるよう今後の取り組みを進めていただくようお願いいたします。

また、ワーク・ライフ・バランスについて、設備部門は家族や友人と過ごすプライベートであっても、設備トラブル発生時には夜間休日問わず設備の復旧に対応しています。執行部におかれましては、実労働時間の削減に向けて要人員バランスの適正化が進むよう、引き続き会社に対し意見提起をお願いします。

組織力のさらなる強化・発揮に向けて

青年女性部は、６年ぶりの「夏フェスタ」をはじめ、いちご狩りや日本製鉄堺ブレイザーズ応援ツアーなどを開催し、多くの組合員の皆さんが楽しまれている姿を見て、組合活動の魅力を伝えることができたと感じています。あわせて、青女学校や女性意見交換会等も実施し、組合役員としての知識向上を図るとともに、青年女性部層ならではの視点で各職場における課題や問題点の集約に努めてきたところです。執行部におかれましては、更なる盛り上げ・充実を図る観点からも引き続きの連携をお願いします。また、組合ニュースや公式LINE、ホームページなどのツールを使ったイベント周知は、労働組合の魅力を伝える重要な宣伝活動であり、今後もタイムリーな情報発信をお願いします。

産業政策・政策・制度、生活諸課題の改善

我々の代表を国政の場に送り出す必要性については、「村田きょうこ」議員の取り組みにより自分達の生活がどのように変わっていくか、理解・浸透ができてきたところです。来年の第２７回参議院議員選挙においては「郡山りょう」氏を必ず国政に送るためにも、我々の持てる力を存分に発揮できるように、各種取り組みを進めていただくようにお願いいたします。

郡山りょう（第 27 回参議院議員選挙）の必勝に向けて

設備総務支部では、「村田きょうこ」氏を国政の場に送り出せたことにより、組織内議員の重要性が浸透してきたところであります。第２７回参議院議員選挙においても、「郡山りょう」氏をなんとしても国政の場に送り出すとの想いのもと、組織内議員の必要性を組合員とそのご家族に理解いただける活動の展開、また、「郡山りょう」氏が「村田きょうこ」議員とともに、我々が求める政策の実現に向けて取り組んでいただけると信じ全力で活動していく所存です。

執行部におきましても、より効果的・効率的な理解・浸透活動を展開していただきますようお願い申し上げます。



中出書記長

執行部答弁

◆安全で健康な職場環境の確立

関西製鉄所和歌山地区においては、休業が１件、手足元の確認不足による不休災害が散見し、さらに関西製鉄所において死亡災害も発生しており、危機的な状況にあると認識しています。会社・安全健康室に対してこれまで以上に意見提起し、継続的に行ってきた職場巡視をはじめとした各種活動を展開し、安全啓発活に向けた取り組みを行っていきます。また、熱中症防止の啓発活動として各支部に行っていただいた「かき氷の振る舞い」も好評につき、後半年度も行う予定です。

メンタルヘルスに関しては会社との情報共有を増やしており、組合としても傾向や課題を認識しやすくなっています。しかし、組合員の異変にいち早く気付けるのは現場の支部役員であることから、現場実態の把握を行って、改めて情報共有をお願いしておきます。

◆雇用基盤の確立に向けた経営対策の強化

関西製鉄所和歌山地区の自己都合退職者数は 2022 年度 28 名、2023 年度 31 名、今年は半年時点で 14 名と微減であるが、転職理由が労働条件向上を求める人が多かった過去に比べると、今はそういった理由での退職が減ってきている。このようなことを踏まえると、好調な一時金はもちろん、AP ２４の結果が組合員一人ひとりのさらなる活力発揮と優秀な人材の確保・定着に資するものであったと改めて認識しています。組合としては、会社に面接での採用者の見極めをお願いするとともに、安心して働ける職場づくりなどを目ざし、引き続き人の確保・定着に資する取り組みを進めていきます。

設備投資については、年々設備が老朽化してきている中、限られた予算で安定操業を維持していくには、かなりの努力が必要であり、厳しい現状だと理解しております。組合としては、実態を把握した上で、会社に具体的な意見提起をしていきたいと考えていることから、今後、執行部にご相談をお願いします。

◆魅力ある労働諸条件の確立と総合的な生活の改善

AP 25については賃金改善を基本に取り組んでいきますが、まず金属産業トップクラスの賃金水準の維持と更なる向上をめざし、今後示される AP の方針（案）に対して意見提起していきます。

実労働時間と時間外労働を削減するためには、要人員バランスの適正化が重要である。まずは現状を正常な状態に戻すために、会社へ採用力の強化を要請することはもちろんのこと、自己都合退職者を減らして要人員の適正化を目ざすべく魅力ある労働諸条件の確立に取り組んでいきます。

◆組織力のさらなる強化・発揮

青年女性部は前半年度において組合員とその家族が楽しめる各種イベントを盛大的に開催していただきました。組合としては、今後のイベントに対しても連携・フォローすることはもちろん公式 LINE を活用し都度周知していきます。LINEに関しては、現在の登録者数が組合員数の約半数であることから、未登録者にはタイムリーに情報提供ができていないのが現状です。今後組合として登録者の拡大にも注力していくことから、支部の皆さんのご協力をお願いいたします。また、関西製鉄所の和歌山地区の盛り上げを図るべく、組合として来年新たにファミリー行事を計画していることから、ぜひ皆さんの参加をお願いします。

◆産業政策・政策・制度。生活諸課題の改善
◆郡山りょうの必勝に向けて

「郡山りょう」氏の取り組みも残すところ 10 カ月を切りました。これから追い込みの取り組みが始まりますが、支部の皆さんの持てる力を存分に発揮いただけるよう、そして効率・効果的に活動が展開できるよう、執行部として各種活動の依頼方法などを支部長会議で相談・検討しながらすすめていきますので、最後の最後まで組合員への浸透活動のご協力をお願いいたします。

以上、本日いただいた貴重なご意見を真摯に受け止め、方針に沿って第５４期後半年度の具体的な取り組みを展開していきます。第５４期も様々な課題が山積していますが、執行部だけで前進させていくことは不可能であり、支部との綿密な連携があってこそ、一体感ある組織活動となります。全組合員とともに、盤石な和歌山労組を構築すべく、積極果敢に挑戦していこうではありませんか。

代議員の皆様には、絶大なるご支援とご協力を心からお願いし、執行部を代表しての答弁とさせていただきます。

近畿ろうきんからのお知らせ

